

令和7年度

東北スタディーツアー

「復興」～人の想い、未来へ～

5年ぶりの再開!

2026/2/23(月・祝)-26(木)

東日本大震災の被災地を訪れ、復興の現場で重ねられてきた選択や葛藤を学ぶスタディーツアーです。
震災から15年、被災地はいま「復旧」から「新しいまちづくり」の段階へと進んでいます。
現地でしか得られない生の情報や当事者の声に触れながら、
同じ時間と場所を共有する仲間とともに考え、議論します。
復興のプロセスや意思決定を多角的に捉え、
将来の災害時に「現場を考えて動ける人材」となる視座を養います。

応募申込フォーム



応募要項

定員 東京大学の学生10名

選考 応募書類・オンライン面談により選考

募集締切 2026年1月12日（月・祝）

費用 **現地までの交通費+食費のみ** (約2万円)
※現地での移動費用（バス）や宿泊費は無料

訪問地域

※変更の可能性あり

宮城県 女川町

海と共に生きることを選び、あえて防潮堤を設置しなかった女川町。その選択をした「還暦以上は口を出さない」という民間主導での住民の意思決定について学びます。

岩手県 陸前高田市

未曾有の被害から、大規模な嵩上げ工事が実施されました。一方で、工期が長かったことが人口流出を加速させたという指摘もあります。安心・安全と迅速性の両立について考えます。

岩手県 大船渡市

住民参加による復興計画策定が進められる中で、国の方針との違和がなかったわけではありません。国の役割はどうあるべきか、住民の想いを大切にするにはどうすればよいか考えます。

スケジュール

～2月中旬 事前学習会
震災に関する基礎知識のインプット、安全管理講習、参加者顔合わせ

2/23～26 ツアー本番
宮城・岩手沿岸部でのフィールドワーク、現地講話、視察、地域コミュニティとの対話

3月～4月 事後学習
振り返りワークショップ、活動報告書の作成

主催

東京大学復興ボランティア会議
UTVC



最新情報ははこちらから

Instagram: @utvc.studytour

Facebook: @utvc.studytour

